

愛知県感染症情報

AICHI Infectious Diseases Weekly Report

2008年2週(1月2週 1/7~1/13)

2007年12月分月報

(作成) 愛知県感染症情報センター(愛知県衛生研究所内)

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>

E-mail: eiseiken@pref.aichi.lg.jp

連絡先: 052-910-5619 (企画情報部)

今週の内容

トピックス

インフルエンザ注意報継続中

集団かぜの発生について(第6報、第7報)

病原体検出情報 2008年1月15日現在

定点医療機関コメント

インフルエンザはA型多数

マイコプラズマ、感染性胃腸炎に関するコメント多数

全数把握感染症発生状況

つつが虫病 4件

麻疹 1件

定点把握感染症報告数(保健所別、年齢別)

感染性胃腸炎 定点あたり 10.7人、前週比 2.7倍(724人 1,941人)

「グラフ総覧」は

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf>

をご覧ください。

トピックス

インフルエンザ注意報継続中

2週の定点あたり報告数が10保健所にて注意報レベルの10.0以上です。愛知県全体の定点あたり報告数は11.7人、前週比2.9倍(773人 2,279人)です。

2007/2008年シーズンのインフルエンザ情報は以下のページをご覧ください。

保健所別・週別患者報告数「2007/08 シーズンインフルエンザ発生状況」

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken>

[/2f/influ_map.html](http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/influ_map.html)

「インフルエンザウイルス分離状況」

http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/infbunri07_08.html

「インフルエンザ注意報を発令します！」(ネットあいち)

(1月11日発表) <http://www.pref.aichi.jp.0000010250.html>

集団かぜの発生について

新城、津島、知多保健所管内で集団かぜが発生しました。詳しくは以下のページをご覧ください。

「集団かぜの発生について」(ネットあいち)

第6報 (1月15日発表) <http://www.pref.aichi.jp.0000010354.html>

第7報 (1月16日発表) <http://www.pref.aichi.jp.0000010395.html>

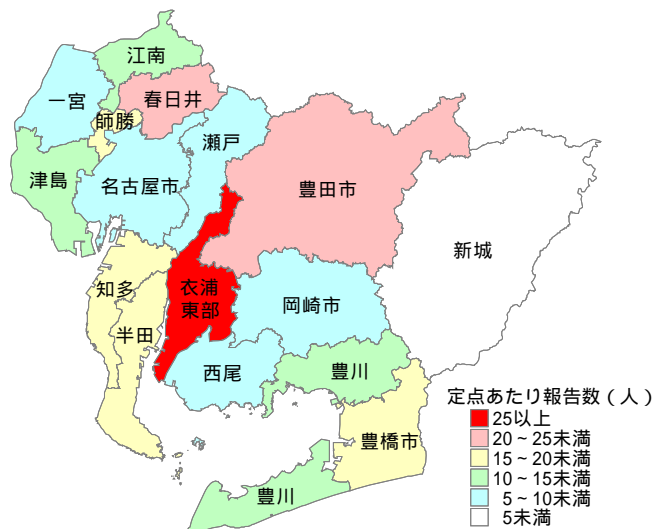


図 保健所別定点あたり患者報告数(2週)

2007年9月1日以降に発症した患者の検査結果です。
インフルエンザは2007/2008シーズンの検査結果です。

	感染性胃腸炎	手足口病	ヘルパンギーナ	咽頭結膜熱	流行性角結膜炎	無菌性髄膜炎	急性脳炎	インフルエンザ
患者数	212	10	10	5	2	20	2	54
PV-1	3	-	1	-	-	-	-	-
PV-2	5	-	-	-	-	-	-	-
PV-3	1	-	-	-	-	-	-	-
CV-A6	-	-	1	-	-	-	-	-
CV-A16	-	4	-	-	-	-	-	-
CV-B4	1	-	-	-	-	-	-	-
CV-B5	-	-	1	-	-	4	-	-
E-6	-	-	-	-	-	2	-	-
E-25	1	-	-	-	-	-	-	-
HPeV-1	2	-	-	-	-	-	-	-
FluAH1	-	-	-	-	-	-	-	14
FluB	-	-	-	-	-	-	-	2
RotaA-G3	1	-	-	-	-	-	-	-
NV-G	14	-	-	-	-	-	-	-
Ad-1	3	-	-	-	-	-	-	-
Ad-2	1	-	-	-	-	-	-	-
Ad-3	-	-	-	1	-	-	-	-
Ad-5	2	-	-	-	-	-	-	-
Ad-31	1	-	-	-	-	-	-	-
Ad-41	3	-	-	-	-	-	-	-
検査中	110	2	3	1	-	2	-	39
陰性	69	4	4	3	2	12	2	1

略:ウイルス名(他の略名)

Ad : アデノウイルス

CV : コクサッキーウイルス(Cox.)

E : エコーウイルス

FluAH1 : A 型インフルエンザウイルス

FluB : B 型インフルエンザウイルス

HPeV : ヒトパレコウイルス

NV-G : ノロウイルス G 型

PV : ポリオウイルス

RotaA : A 群ロタウイルス

定点医療機関コメント（名古屋市除く）

尾張西部地区

インフルエンザ 54 名 すべて A 型
【一宮市 一宮市立市民病院】
インフルエンザがでてきました。4～9 歳で
9 名 すべて A 型。
ムンプスが多かったです。
【一宮市 あさのこどもクリニック】
5 歳女 マイコプラズマ気管支肺炎
3 名インフルエンザ すべて A 型
保育園でムンプス流行
【一宮市 後藤小児科医院】
マイコプラズマ感染症 4 名
【一宮市 城後小児科】
インフルエンザ A 型でした。
【一宮市 森瀬内科】
インフルエンザ すべて A 型
水痘の家族内感染。4 か月、1 歳の乳幼児
感染を認め、なかなか終息を認めません。
【稲沢市 野村整形外科】
インフルエンザ増加してきました。17 名
(すべて A 型)。
溶連菌感染症の流行も続いています。
【江南市 みやぐちこどもクリニック】

R S 感染症 14 例と減少傾向。
インフルエンザすべて A 型 18 例。(うちワ
クチン接種 6 例)
溶連菌増えています。
【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】
A 型インフルエンザが増加してきました。
20 代の人からはじまり子供への伝播が起こ
っているようです。
【犬山市 武内医院】
インフルエンザ出現してきました。(すべ
て A 型)
【扶桑町 いずみ内科】
インフルエンザが増えて参りました。(全て
A 型、ワクチン接種者も数名あります。)
胃腸カゼも未だ続いて居ります。
【春日町 丹羽医院】
インフルエンザは全て A 型です。
【北名古屋市 田中クリニック】
インフルエンザ A 型 18 名
【津島市 医療法人参育会加藤医院】

尾張東部地区

インフルエンザ A は多くはありません(8 名)。
感染性胃腸炎が多く、サルモネラ (O9) 5
歳男、病原大腸菌 (O25) 1 歳男。
溶連菌感染症も多く、アデノウイルス感染
症、マイコプラズマ感染症も目立ちます。
【瀬戸市 津田こどもクリニック】
インフルエンザ急増 (全て A 型)
その他水痘、マイコプラズマ感染症、溶連
菌感染症等。
【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】
11 歳女 カンピロバクター O1
【尾張旭市 旭労災病院】
A 型インフルエンザ 2 名 13 歳女、29 歳男
【豊明市 豊明団地診療所】
R S 感染症が落ち着いてきて、インフルエン
ザ感染症が増えています。
【春日井市 春日井市民病院】
2 歳麻しん 1 例 (MR ワクチン済み)
A 型インフルエンザ 17 例
B 型インフルエンザ 1 例
感染性胃腸炎続発中
【春日井市 朝宮こどもクリニック】
インフルエンザ増加中
【小牧市 小牧市民病院】
インフルエンザ急増、すべて A 型です。
水痘も多く見られます。
今年初めてのロタウイルス腸炎 1 例。
【小牧市 志水こどもクリニック】

インフルエンザ A 型 10 人。
インフルエンザが増えました。
【小牧市 医療法人心正会鈴木小児科】
マイコプラズマ肺炎 4 歳 (女)
マイコプラズマ肺炎 9 歳 (女)
インフルエンザ急増・全て A 型
【美浜町 厚生連知多厚生病院】
感染性胃腸炎減ってきました。
A 型インフルエンザ 5 名
【南知多町 医療法人大岩医院】
インフルエンザ A 型 27 名
【半田市 半田市立半田病院】
インフルエンザ A 型 12 名
38 歳男 百日咳流行株 1280 倍 (妻が 2 週
間前百日咳)
【半田市 医療法人林医院】
インフルエンザ A 型 15 名
【半田市 医療法人敬おっかわこどもクリニック】
インフルエンザ A 型:18 人 B 型:2 歳女
12 歳男 病原大腸菌 O1 (+) カンピロバ
クター (+)
10 歳男 病原大腸菌 O1 (+)
10 歳男 病原大腸菌 O1 (+)
3 人ともベロトキシン (-)
【大府市 まえはらこどもクリニック】
インフルエンザ (A) が増えました。
感染性胃腸炎は減ってきました。
【東海市 もしもしこどもクリニック】

西三河地区

4歳男、11歳女、12歳女、39歳女
StrepA (+)
2歳女 ロタウイルス (+)
3歳男 アデノウイルス (+)
インフルエンザA型 6名
【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】
インフルエンザA型 19名
【豊田市 田中小児科】
インフルエンザA型 22名
【豊田市 足助病院】
インフルエンザA型 9名
【豊田市 すくすくこどもクリニック】
インフルエンザは全例A型でした。
RSウイルス感染症が目立ちました。
【岡崎市 花田こどもクリニック】
4歳男 インフルエンザA (ワクチン接種
歴1回)
4歳男 インフルエンザA (ワクチン接種
歴1回)
35歳女 インフルエンザA (ワクチン-)
4歳女 インフルエンザA (ワクチン+)
13歳女 インフルエンザA (ワクチン-)
2歳女 インフルエンザA (ワクチン+)
10歳男 インフルエンザA (ワクチン-)
43歳男 インフルエンザA (ワクチン-)
4歳男 病原性大腸菌O125 (VT-)
2歳女 マイコプラズマ
【岡崎市 竜美ヶ丘小児科】
インフルエンザA 30人
アデノ 5歳男
RS 2か月女、3か月女
カンピロバクター 6歳男
【岡崎市 にいのみ小児科】

4歳男 カンピロバクター 病原大腸菌O15
インフルエンザA型 15名 (内ワクチン接
種者4名)
【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】
すべてインフルエンザA
【岡崎市 医療法人志貴こどもクリニック】
インフルエンザA型1名 (予防接種済み)
でした。
【岡崎市 粟屋医院】
インフルエンザA型1名 (ワクチン未接種)
【岡崎市 医療法人永坂内科医院】
溶連菌感染症、感染性胃腸炎、水痘、イン
フルエンザ (まだ流行とはいえません)
【碧南市 永井小児クリニック】
インフルエンザAが流行しはじめました。
水痘も流行しています。
【刈谷市 まついこどもクリニック】
インフルエンザはA型のみ。
【刈谷市 田和小児科医院】
インフルエンザ 10名
RSウイルス 5名
溶連菌感染症 5名
【知立市 宮谷クリニック】
インフルエンザ全員A型
インフルエンザワクチン未実施
【安城市 医療法人鳥居医院】
感染性胃腸炎、水痘が流行しています。
インフルエンザは減りました。
【三好町 三好町民病院】
インフルエンザ2名 (A型)
【西尾市 やすい小児科】
インフルエンザは全てA型 (9名)
感染性胃腸炎が相変わらず流行しています。
【西尾市 山岸クリニック】

東三河地区

インフルエンザAが増えてきました。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の子が時々
います。
【豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科】
インフルエンザA型増加傾向
【豊橋市 あずまだこどもクリニック】
インフルエンザが増加しています (全例A型)
【豊橋市 おだかの医院】
インフルエンザはA型45名、B型2名の
計47名で、10か月から60歳までみられま
した。
【豊橋市 医療法人羽柴クリニック】

RS乳児入院数名あり
ノロウイルス陽性1名入院
病原大腸菌O6 1名入院
インフルエンザすべてA (+)です。
【豊川市 豊川市民病院】
ウイルス性胃腸炎相かわらず多い。
インフルエンザA型がふえてきました。
RSV感染症の3か月児は、ぜいめい強く、
入院。
【豊川市 ささき小児科】
21歳男水痘 (3歳でワクチン接種)
【蒲郡市 鈴木小児科医院】

全数把握感染症発生状況（愛知県全体・保健所受理週別）1月16日現在

一～三類感染症

<関連リンク> 届出基準 (<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedekijun071228.pdf>)

結核（二類感染症）

報告保健所	2週報告数			2008年累計(1～2週)		
	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者再掲	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者再掲
名古屋市(16保健所合計)	13	5		18	7	
豊田市	1	1		1	1	
豊橋市						
岡崎市						
一宮	1			1		
瀬戸	4	2		7	2	1
半田	1			1		
春日井	1			1		
豊川	1	1		1	1	
津島						
西尾	2	2		2	2	
江南						
新城						
知多						
師勝						
衣浦東部	1			2	1	
合計	25	11		34	14	1

四類・五類感染症（全数把握）（推定感染経路、推定感染地域は確定も含む）

A型肝炎（四類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	推定感染経路	推定感染地域
1	春日井	38	女	不明	国内

つつが虫病（四類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	推定感染地域
1	豊川	29	女	愛知県 豊橋
2	豊川	60	男	愛知県 田原
3	豊川	74	男	愛知県 田原
4	豊川	64	男	愛知県 田原

レジオネラ症（四類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染地域
1	一宮	30	女	肺炎型	国内

アメーバ赤痢（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	55	男	腸管アメーバ症	経口感染	国内
2	名古屋市	76	男	腸管アメーバ症	不明	国内

後天性免疫不全症候群（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	29	男	無症候期	性的接触	国内

梅毒（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	知多	22	男	無症候	性的接触	国内

麻しん（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域
1	春日井	2	男	有	国内

2007年12月分月報

(2008年1月15日現在)

12月の一～五類感染症(全数把握対象)発生状況 (診断日に基づく集計です)

2006、2007年に報告のあった 疾病名および病型 ()内は全数把握対象疾病数		2007年12月			2007年 累計 <愛知県全体>	2006年 総計 <愛知県全体>	
		愛知県 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県 全体			
一類 (7)	発生報告なし	0	0	0	0	0	
二類 (4)	結核	94	60	154	1432	-	
三類 (5)	コレラ	0	0	0	0	4	
	内訳	患者	0	0	0	0	2
		疑似症患者	-	-	-	-	2
	細菌性赤痢		0	0	0	25	31
	腸管出血性大腸菌感染症		3	1	4 *	166	211
	内訳	患者	3	1	4	130	140
		無症状病原体保有者	0	0	0	36	71
	腸チフス		0	0	0	3	6
	内訳	患者	0	0	0	3	6
無症状病原体保有者		0	0	0	0	0	
パラチフス		0	0	0	0	3	
四類 (41)	E型肝炎	0	0	0	8	6	
	A型肝炎	0	0	0	6	19	
	オウム病	0	0	0	1	0	
	Q熱	0	0	0	1	0	
	つつが虫病	1	1	2	3	5	
	デング熱	1	0	1	7	5	
	日本脳炎	0	0	0	1	0	
	マラリア	0	0	0	1	2	
	ライム病	0	0	0	0	1	
	レジオネラ症	2	1	3	41	45	
五類 (14)	アメーバ赤痢	4	4	8	59	50	
	ウイルス性肝炎	0	1	1	8	9	
	内訳	B型	0	1	1	7	6
		C型	0	0	0	1	3
	急性脳炎		0	0	0	4	10
	クロイツフェルト・ヤコブ病		0	0	0	6	11
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症		0	1	1	6	9
	後天性免疫不全症候群		0	6	6	123	112
	内訳	無症候期	0	3	3	79	74
		AIDS	0	3	3	38	31
		その他	0	0	0	6	7
	ジアルジア症		0	0	0	1	2
	髄膜炎菌性髄膜炎		1	0	1	2	1
	梅毒		3	4	7	75	50
	内訳	無症候	1	2	3	19	14
		早期顕症	2	2	4	52	35
晚期顕症		0	0	0	1	0	
先天梅毒		0	0	0	3	1	
破傷風		0	0	0	0	5	
バンコマイシン耐性腸球菌感染症		0	0	0	2	0	
総計		109	79	188	1981	597	

* ; 018 1件、0157 2件、0血清型不明 1件

五類感染症(月報定点把握対象)発生状況

	疾病名	2007年12月			2007年 累計	2006年 総計
		愛知県 <small><名古屋市除く></small>	名古屋市	愛知県 全体	愛知県 全体	愛知県 全体
性 感 染 症 定 点	性器クラミジア	87	57	144	1699	1597
	性器ヘルペスウイルス感染症	28	36	64	576	428
	尖圭コンジローマ	19	20	39	462	440
	淋菌感染症	30	25	55	810	983
基 幹 定 点	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	92	8	100	1008	937
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	3	8	11	83	43
	薬剤耐性緑膿菌感染症	1		1	7	3

感染症の類型及び定義

類型	定義
一類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が極めて高い感染症。患者、疑似症患者及び無症状病原体保有者について入院等の措置を講ずることが必要。
二類感染症 (4疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が高い感染症。患者及び一部の疑似症患者について入院等の措置を講ずることが必要。
三類感染症 (5疾病)	感染力及び罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性は高くないが、特定の職業への就業によって感染症の集団発生を起こしうる感染症。患者及び無症状病原体保有者について就業制限等の措置を講ずることが必要。
四類感染症 (41疾病)	動物、飲食物等の物件を介して人に感染し、国民の健康に影響を与えるおそれがある感染症(人から人への伝染はない。媒介動物の輸入規制、消毒、物件の廃棄等の物的措置が必要。)
五類感染症 (41疾病)	国が感染症の発生動向の調査を行い、その結果等に基づいて必要な情報を国民一般や医療関係者に情報提供・公開していくことによって、発生・まん延を防止すべき感染症。
指定感染症 (1疾病)	既知の感染症(一～三類感染症を除く)のうち、一～三類感染症と同程度の危険性を有し、それらに準じた措置を実施しなければ、国民の生命及び健康に重大な影響を与える恐れがあるもの。一年間に限定した指定。インフルエンザ(H5N1)が平成18年6月2日に指定され、さらにその期間が1年間延長(平成20年6月11日まで)された。

愛知県感染症情報

2008年2週(2008年1月7日～2008年1月13日)

愛知県衛生研究所

	定点数					RSウイルス感染症	インフルエンザ*	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)
	インフルエンザ	小児科	眼科	STD	基幹																		
愛知県																							
愛知県 (名古屋市を含む)	195	182	35	52	17	139	2,279	29	258	1,941	331	28	21	115	6	4	117	0	8	0	0	8	0
総数 (名古屋市は除く)	125	112	24	37	12	121	1,867	21	199	1,181	256	24	20	88	4	3	96	0	6	0	0	4	0
名古屋	名古屋市	70	70	11	15	5	18	412	8	59	760	75	4	1	27	2	1	21		2		4	
尾張東部	瀬戸	9	9	2	3	1	15	83	5	35	39	10					4						
海部津島	津島	7	7	2	2	1	1	89		10	212	7		3	4			3				1	
尾張中部	師勝	4	4	1	1			64			52	7											
尾張西部	一宮	16	12	3	4	1	3	122	2	12	71	16	2	3	8			27					
尾張北部	春日井	9	9	2	3	1	23	210	6	22	76	24	1		13			6		1			
	江南	6	6	1	2		15	78	2	21	70	15	3	4	7			4		1			
知多半島	半田	6	6	1	2	1	11	106	2	10	94	16	1		5	3		3				1	
	知多	7	7	2	2		8	119		11	69	8	3	2	4	1		13					
西三河南部	岡崎市	11	7	2	2	1	9	92		17	37	27	1	2	11			14					
	衣浦東部	13	13	2	4	1	13	329	1	21	105	51	1	2	9		2	18					
	西尾	5	5	1	2	1	6	30		11	71	11		4	5								
西三河北部	豊田市	9	9	2	4	1		206	2	11	59	19	3		3			1		3			
東三河南部	豊橋市	12	8	2	4	1	6	213	1	12	101	34	5		11							1	
	豊川	9	8	1	2	1	11	118		6	125	10	3		4		1	3		1		1	
東三河北部	新城	2	2			1		8				1	1										

*鳥インフルエンザ及びインフルエンザ(H5N1)を除く

愛知県感染症情報

2008年2週(2008年1月7日～2008年1月13日)

愛知県衛生研究所

年齢階層 (名古屋を除く)	RSウイルス感染症	インフルエンザ*	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)
計	121	1,867	21	199	1,181	256	24	20	88	4	3	96	0	6	0	0	4	0
～6ヶ月	54	14		1	5	8												
～12ヶ月	27	19	2	2	72	20	1		48	1								
0歳																		
1歳	27	86	6	4	171	49	8	3	38		2	6						
2歳	10	91	4	13	86	46	7	4	2		1	8						
3歳	2	125	4	18	95	43	1					15						
4歳	1	130	1	21	73	26	3	4				16						
5歳		179		38	79	27	2	4				23						
6歳		124		34	43	14	1	2				16						
7歳		100	2	23	50	7		2				5						
8歳		71	1	10	47	6						1	1					
9歳		64		10	39	2		1				2						
5歳～9歳																	2	
10歳～14歳		192		20	107	5	1			1		2						
15歳～19歳		66		1	44	1												
20歳～			1	4	270	2				2		2						
20歳～29歳		238												1				
30歳～39歳		200												3			2	
40歳～49歳		83																
50歳～59歳		48																
60歳～69歳		19																
70歳～														1				
70歳～79歳		13																
80歳以上		5																

*鳥インフルエンザ及びインフルエンザ(H5N1)を除く